

開発面積約18,000㎡・総戸数261戸

第一種低層住居専用地域に誕生するマンションでは、東京23区内最大規模(※)

「(仮称)中野区上鷺宮 低層レジデンス街プロジェクト」始動

2013年10月1日、ホームページ開設

三菱地所レジデンスは、東京都中野区において、「(仮称)中野区上鷺宮 低層レジデンス街プロジェクト」を始動します。本プロジェクトは、西武池袋線「富士見台」駅から徒歩4分、第一種低層住居専用地域では東京23区内最大規模(※)となる約18,000㎡の敷地に誕生する、地上3階建、全261戸の大規模マンションです。

本日10月1日(火)にホームページを開設し、2014年2月よりモデルルームをオープンする予定です。

(※)1997年1月～2013年6月に第一種低層住居専用地域に分譲された新築の民間マンションにおいて、敷地全体が東京都23区内に属するものでは、敷地面積・総戸数ともに最大規模となります。(MRC調べ)



▲「(仮称)中野区上鷺宮 低層レジデンス街プロジェクト」外観予想CG

第一種低層住居専用地域でありながら、三方を道路に囲まれた約18,000㎡もの広大な敷地面積を誇る稀少な計画敷地に、三菱地所設計による設計・監理のもと「低層レジデンス街」の創出を目指します。建物自体が街並みとなることを意識し、街路に面した外廊下を、タイルと木調ルーバーのふたつの異なる素材で被い、外周に植栽を配することで、周辺の街並みに調和した端正な外観ファサードを実現すると同時に、居住者のプライバシーの確保を図っています。

全住戸の約80%が南向きとなる配棟計画を実現し、住戸プランは62.75㎡～108.00㎡、2LDK～4LDK。「ハナレ」付きや玄関前にサイクルポートを設けるなど、お客様の多様なライフスタイルにお応えするため、様々なプランをご用意します。

共用部には小規模な低層住宅では実現しにくい、800㎡を超えるプライベートガーデン、ゲストルームやライブラリーラウンジ、パーティールームの設置や、暮らしをサポートするコンシェルジュサービスをはじめ、カーシェアリングサービス、ベーカーリーサービスなど充実した共用施設・サービスを計画しています。

三菱地所グループは、今後も良好な街並みの形成に寄与するマンションづくりを進めてまいります。

【(仮称)中野区上鷲宮 低層レジデンス街プロジェクト】物件概要】

所在地：東京都中野区上鷲宮3丁目308-1（地番）  
交通：西武池袋線「富士見台」駅徒歩4分  
敷地面積：18,843.96㎡  
構造・規模：鉄筋コンクリート一部鉄骨造・地上3階地下1階建  
住戸数：261戸  
住戸面積：62.75㎡～108.00㎡  
間取り：2LDK～4LDK  
予定販売価格：未定  
売主：三菱地所レジデンス株式会社  
設計・監理：株式会社三菱地所設計  
施工：東亜建設工業株式会社（予定）  
管理会社：管理組合設立後、三菱地所コミュニティ株式会社に委託予定  
竣工：2015年2月中旬（予定）  
引渡：2015年3月下旬（予定）  
販売スケジュール：2013年10月1日 ホームページ開設  
2014年2月上旬 事前案内会開催予定  
2014年5月上旬 販売開始予定

【マンションに関するお客様からのお問い合わせ】

「(仮称)中野区上鷲宮 低層レジデンス街プロジェクト」 販売準備室  
営業時間：10:00～17:00（土・日曜日、祝日定休）、URL：<http://www.mecsumai.com/tph-kamisagi/>  
TEL：0120-320-044



▲「(仮称)中野区上鷲宮 低層レジデンス街プロジェクト」外観予想CG

【現地案内図】

